




No137 頚椎の手術を受ける患者様へ①

ID @PATIENTID
氏名 @PATIENTNAME

月日	/				
経過	入院日・手術前日	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目	
目標	手術に対する不安が最小限である。		麻酔・手術後の経過に問題がない。(バイタルサインが安定し、合併症が起こらない)		
処置 治療	<ul style="list-style-type: none"> ・現在使用している薬を入院時に看護師がお預かりします。すぐに取り出せるところにご用意下さい。(目薬や貼り薬、塗り薬も含む) ・抗凝固薬や抗血小板薬を飲んでいた場合は、手術のために引き続き中止します。 ・眠れないようでしたら消灯までに看護師へお申し出下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6:30に指示薬のみ内服をします。 ・ご自身の寝衣のまま、ストレッチャーに乗って手術室へ行きます。 ・弾性ストッキングを装着します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素マスクは指示があるまでつけておきます。 ・尿道に管が入ってきます。術翌日、翌々日を目安に抜去します。 ・血栓予防のためフットポンプを両足に装着します。車椅子に乗れるようになったら外します。 ・傷口近くから血液が溜まらないようにするための排液用のチューブが入ってきます。 ・痛みがある場合には、痛み止めを使用できます。遠慮せず看護師にお知らせください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術後の消毒は基本的に必要最小限となります。 ・抗生剤終了後、点滴の針を抜きます。 ・朝から手術前に内服していた薬を再開します。 	
検査 測定	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日体温、脈拍、血圧などの測定を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術前に体温、脈拍、血圧の測定を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・帰室直後から早朝まで適宜検温を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・採血を行います。 	
入院生活	食事	<ul style="list-style-type: none"> ・21時以降食事をすることができません。 ・飲水は別途指示が出ます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き食事は出来ません。 ・飲水は別途指示が出ます。 ・洗面やうがいをを行うことができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手術当日は禁食です。 ・飲水は酸素終了後、または医師の指示が出てから可能になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝から食事が始まります。
	活動	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の制限はありません。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ベッド上安静です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・術後の状態により、歩行できます。
	清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・シャワー浴を行います。 ・爪を切り、ジェルネイル・マニキュアは落として下さい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・体の向きを変えるときは、看護師がお手伝いします。 ・排便の際はベッド上で差し込み便器を使用します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示により、頚椎カラー(装具)を装着する場合があります。 ・体を拭き、寝衣を着替えます。
	リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> ・入院中リハビリを行います。 ☆普段からの運動が大切です。ベッド上で動かないことで血栓ができてしまう恐れがあります。予防のために両方の足首をしっかり曲げ伸ばしする運動をしましょう。 			<ul style="list-style-type: none"> ・日常の身の回りのお手伝いをします。 ・ベッドサイドにてリハビリを行います。
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・入院日までに主治医から手術の説明があります。 ・同意書はサインをして看護師にお渡し下さい。 ・看護師より入院生活や手術前後の生活、注意事項についての説明があります。 ・薬剤師より内服薬、点滴について説明があります。 ・医療福祉相談室のソーシャルワーカーと面談することが出来ます。リハビリのための転院や経済面など相談希望の方は早めに看護師へお伝えください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入れ歯、湿布、ネックレス、指輪、ウィッグなど身につけているものはすべて外してください。 ・金庫の鍵は付きそいの方か、担当看護師にお預けください。 ・手術室まで眼鏡を装着できます。ケースをご持参ください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族は原則、手術室前の控え室か病棟でお待ちください。 ・術中、術直後は連絡が取れるようにしてください。 ・手術後、ご本人やご家族へ医師より手術について説明致します。 		

※状態に応じて予定が変更になる場合がございます。ご不明な点はおたずね下さい。この用紙は入院時にお持ちください。

No137 頰椎の手術を受ける患者様へ②

ID @PATIENTID
氏名 @PATIENTNAME

月 日			~	~
経 過	術後2日目	術後3日目	術後4~6日目	術後7日目~退院まで
目 標	麻酔・手術後の経過に問題がない。(バイタルサインが安定し、合併症が起こらない。)			
処 置 治 療	<p>・排液用チューブを抜去します。 (医師の判断で抜去するため日程は前後します。)</p> 			
検 査 測 定		<p>・採血をします。</p>		<p>・レントゲン撮影があります。</p> 
入 院 生 活	食 事			
	活 動			
	清 潔		<p>・傷口を防水テープで保護して、シャワーに入ることができます。</p>	
	リハビリ	<p>・リハビリセンターでのリハビリが始まります。</p>		<p>・退院希望日を医師、もしくは看護師へお伝えください。</p> <p>・退院前にまでに薬剤師より必要な薬について説明をします。</p> <p>・退院前までに理学療法士より退院後のリハビリについての説明をします。</p> <p>・次回外来までに創部が赤くなる、滲出液が出る、急な高熱認められた場合は連絡の上必要時受診して下さい。</p>
説 明				